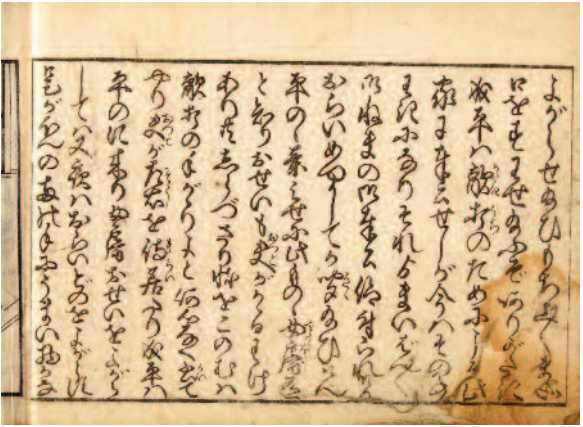
三六　近世報國百人一首
―鮮齋永濯・孟齋芳虎畫圖

簽　轉々堂藍泉編　明8　中一冊　一六、二〇〇

三七　好色粟嶋模様　中之巻

簽　口繪彩色摺　刊年不明　中横一冊　八六、四〇〇

一八・一九頁参照



保
女人堂
久松

三八　おしろい銘集録

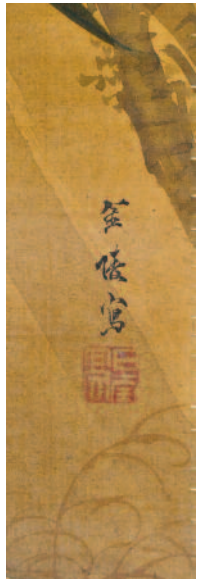
摺外題　開好亭述　江戸末期刊　極小横一冊　二七、〇〇〇

三九　浮世繪手鑑　簽　兩面摺　酒井藤兵衛　好古堂　明33　中一帖　二一、六〇〇

四〇　金子金陵画幅　一幅　五四、〇〇〇

―絹本　軸長一〇二糎　左右軸頭欠

渡辺崋山・椿椿山ノ師トシテ名高イ。「日南／亭」朱印。文化一四年歿。

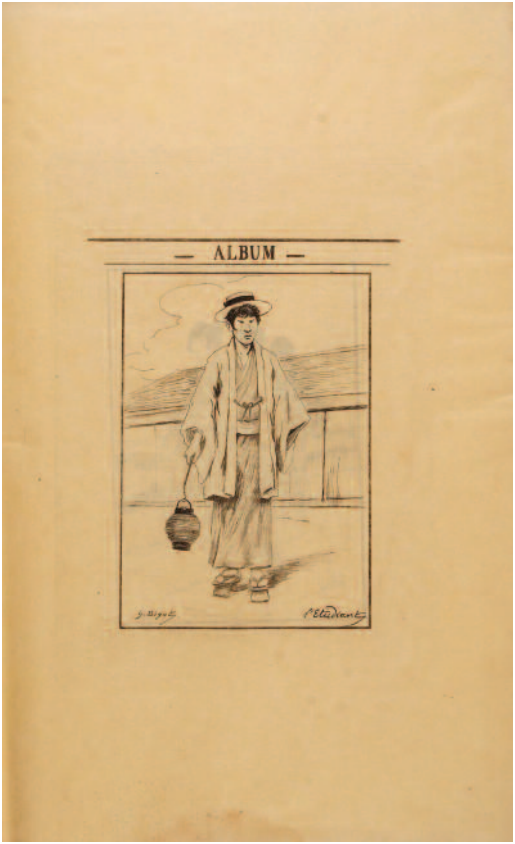


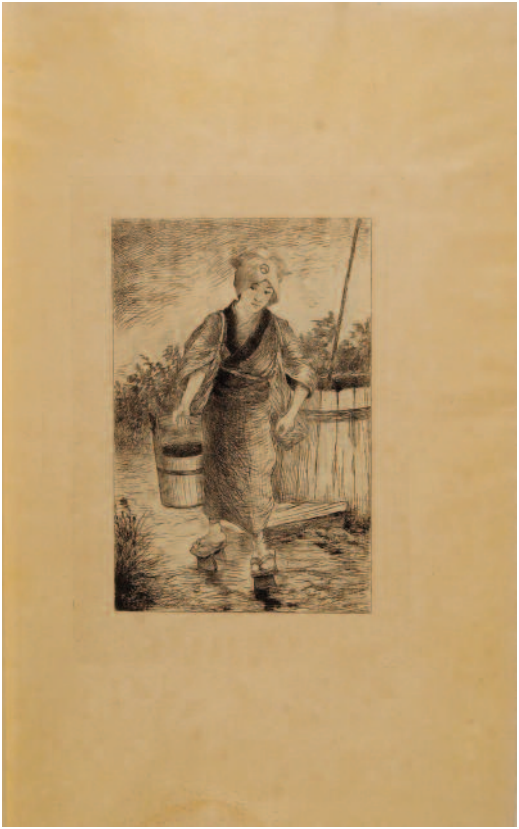
四一　CROQUIS JAPONAIS PAR G.Bigot　特大一冊　二七〇、〇〇〇

—1886.TOKIO「銅版画集クロッキージャポネ」ジョルジュ・ビゴー画

本文二九圖・表紙ト裏紙ヲ合ワセテ全三一圖ノコンプリート。四三頁參照

本ノ大キサ四六・三×三一・六糎。下方ニ薄染ミガアルガ保存状態良好。





【裏表紙】

四二　竹久夢二作品展覽會繪葉書　橋本いし宛　一枚　一六二、〇〇〇

―京都府立圖書館デ夢二ガ一九一二年ニ初メテ開催シタ「第一回夢二作品展覽會」ノ案内繪葉書。一説ニヨルトコノ間ニ最初ノ妻たまきヲモデルニ「夢二式」ト呼バレタ美人画ヲ發表シテ一大ブームヲ巻キ起コシタト云ウ。夢二、廿八歳。

四〇・四一頁參照

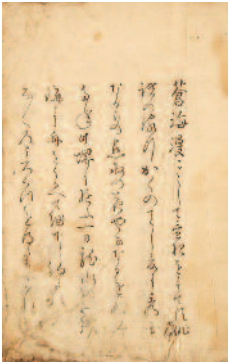
四三　正風集　六　簽　法橋不角選　享保一五年『國書』　半一冊　二七、〇〇〇

四四　海の幸　天巻（地巻欠）　寶暦壬午（一二年）序　特大一冊　二一六、〇〇〇

―石壽観秀國編。勝間龍水画。廿四丁完。　六～九頁参照

表裏原装。題簽欠。手擦レ傷ミアリ。未補修傳來ノママ。

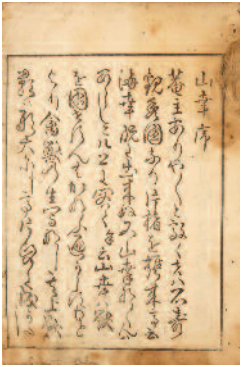
寶暦一二年ノ刊記ヲ有ス天地合巻ノ早大本ト画ノ順ガ同一デ雲母摺ヲ施シタ多色摺ニ於テ引ケヲ取ラナイ。江戸座ノ俳人秀國ノ代表的ナ繪俳書ニシテ吾國最初ノ博物學的ナ魚介類圖譜トシテモ評價ノ高イ名品。



四五　山の幸　天巻（地巻欠）　明和二年春正月序　特大一冊　五四〇、〇〇〇

―俳耕林秀國編。勝間龍水画。二七丁完。　一～三頁参照

表裏原装。題簽欠。手擦レ傷ミ。巻首數丁喉ニ染ミ穴アリ。表紙外レ。未補修傳來ノママ。龍水ノ描ク植物、小動物、昆虫ニ發句ヲ添エタ繪俳書デ、先ノ『海の幸』ノ續編トモ考エラレル「山幸」ダガ、重版サレタ「海の幸」ニ比べ傳本ガ少ナイ。

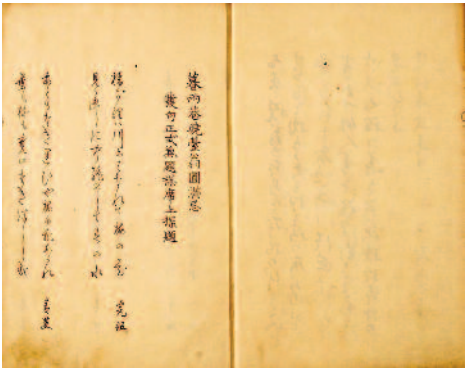


四六　去來抄　上巻　　簽　東奥門人呑溟校　安永三年序　半一冊　一六、二〇〇

―尾張曉臺先生訂正

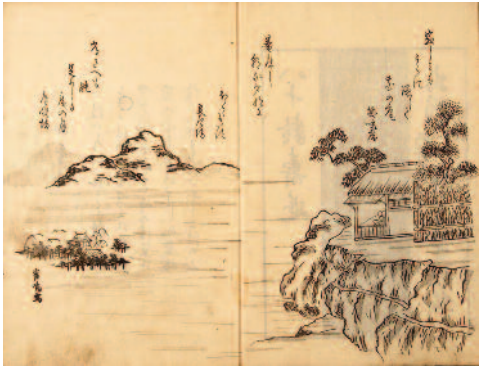
四七　圓滿集　簽（擦レ）　卓池編　天保一二年序刊　半一冊　二七、〇〇〇

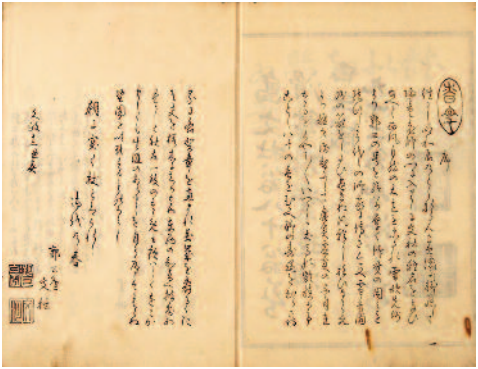
―暮雨巷曉臺翁圓滿忌　發句正式兼題楳席上探題

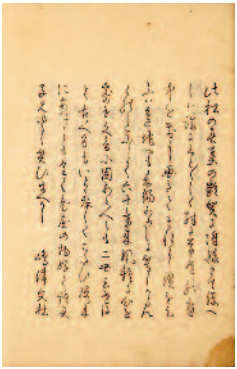


四八　まつのはる　八十齢壽莚

―出羽／二井宿／郭公庵文杜編　簽　蕉門書林／橘屋治兵衛梓　文政一二年序刊　半一冊　三七、八〇〇

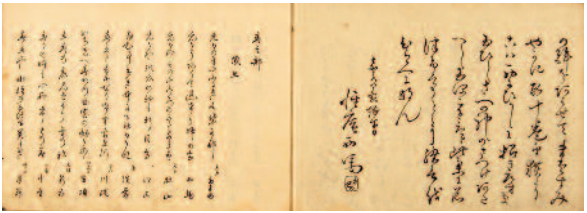






四九　玉深古金　簽　惺庵西馬序編　嘉永七年序刊　中横一冊　二一、六〇〇

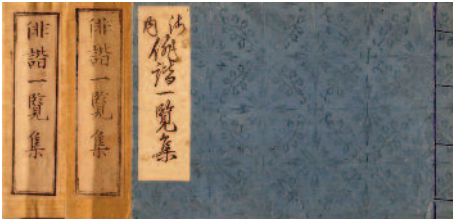
五〇　明治俳諧廣崕五百題　上下巻　簽　楊州庵宗匠編　明3　小二冊　一〇、八〇〇

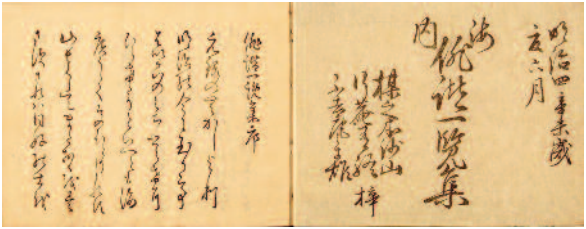


五一　海内俳諧一覽集　初二三編　簽　明4明5明5

―梅之本・行庵・不去庵梓　第三集少虫　美本

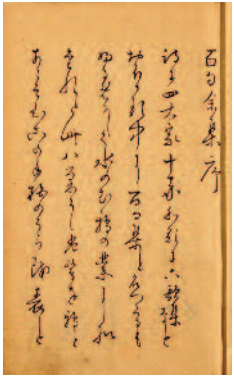
小横三冊　三二、四〇〇

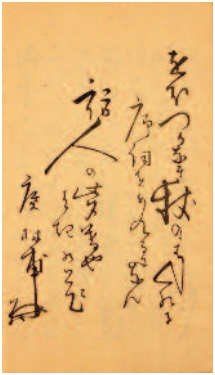




五二　俳家画像人名録　　簽　記久守見外序　明治三年刊　中一冊　五四、〇〇〇

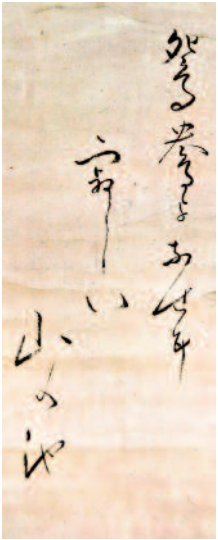
―東京、千葉、武蔵、上州、常州ヲ主トシタ人名録。一五九丁。





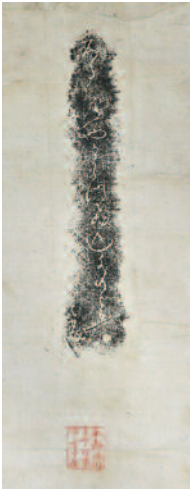
五三　栗田樗堂鴛鴦画賛　一幅　五四、〇〇〇

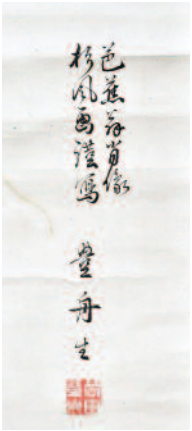
―寛延二年生マレ。伊豫松山ノ酒造家。町方大年寄。加藤曉臺ニ學ビ小林一茶ト交友。寛政七年一茶ト道後温泉ニ吟遊シタト云ウ。



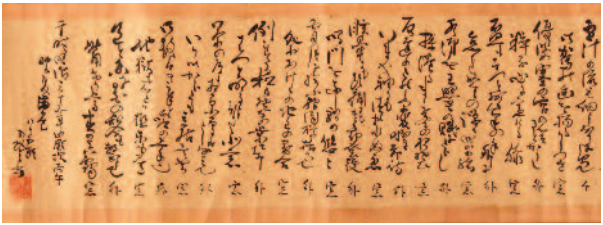
五四　芭蕉翁肖像幅
―杉風画模寫　豊舟生　紙本　軸長一四九糎
上層ノ芭蕉短冊拓「東都深川／はせを堂／守雪中菴」朱印

一幅　二一、六〇〇





五五　下平可都三画賛俳諧之連歌百韻両吟　明治三九年晩夏
―荒井閑窓・菊守園菊外　八十五齢／可都三書
紙高二四糎　長サ三一五糎　桐箱入



一巻　二一、六〇〇

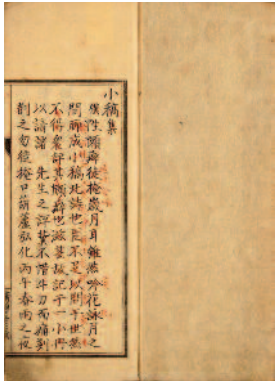
五六　柳亭種彦他合作小品幅　一幅　八六、四〇〇

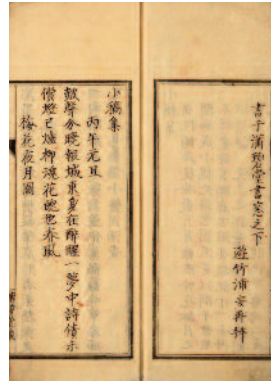
―紙本　四五×二八・五糎　軸長一三二糎　箱　中央部ニ虫欠損アリ

梨月画　中道　心怪

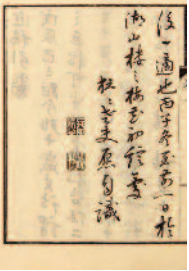
五七　小稿集　精寫本三九丁　遊竹浦安再拜　江戸後期寫　中一册　一六、二〇〇

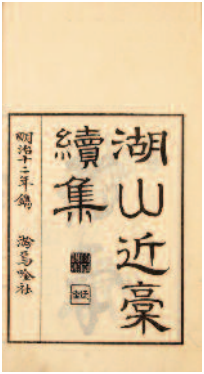
―版心下方ニ「瀟碧堂藏」ト刻ス用箋ニ精寫。一見板本ト見紛ウ。康熙綴。



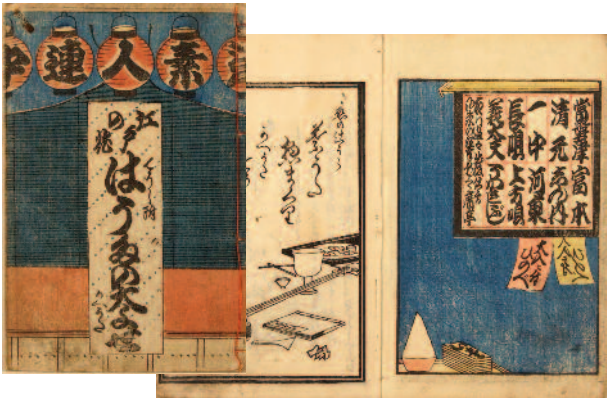


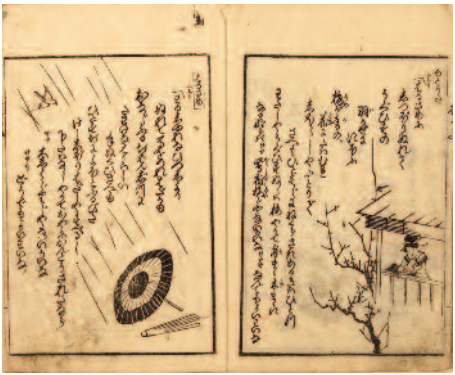
五八　湖山近稿　乾坤・續集　簽　中村正直序　明10・明12　半三冊　二七、〇〇〇
―近江／小野長愿著





五九　江戸の花はうたの大よせ　てうし附　かへうた　江戸末刊　中一冊　一〇、八〇〇





六〇　賞罰天カラフル　上　表紙少傷ミ　服部應賀著　無刊　半一冊　三二、四〇〇
―河鍋暁齋画　明治初期刊　下巻ハ未刊デアロウ

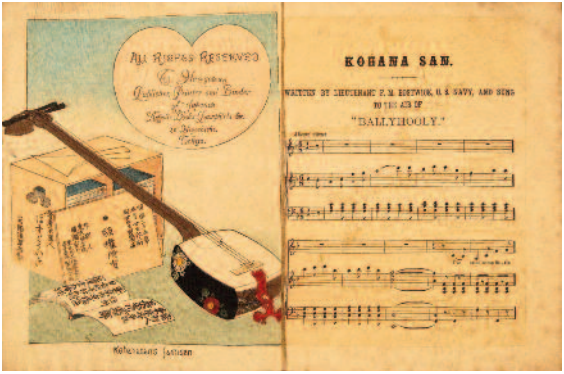
六一　福島奇聞自由夜話　前編　箕輪勝編輯　辻岡文助板　明16

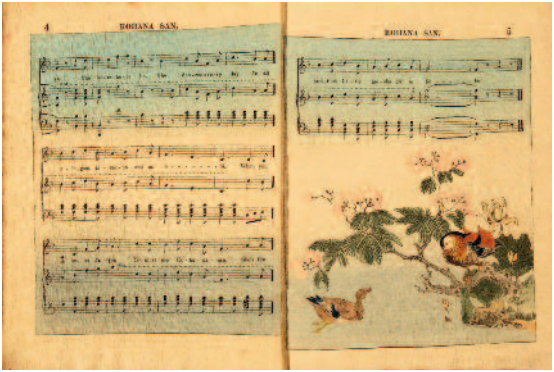
―東洋太朗序文／訂正　年恒画　後編未刊

中一冊　二七、〇〇〇

六二　あほら誌　第九・拾・拾壱號
―大阪心齋橋／安房羅誌社　奥村柾兮編　明24　四六判三冊　二七、〇〇〇

六三　KOHANA SAN（小花三）チリメン繪本　明25　中一册　五四、〇〇〇
—著者米國人／ぼすとういき（F.M.Bostwick）／米國海軍在勤
印刷人／廣瀬安七　發行人／長谷川武次郎　一九丁
本ノ大キサ一九・三×一五・五糎




4
ROHANA SAN.
ROHANA SAN.
5

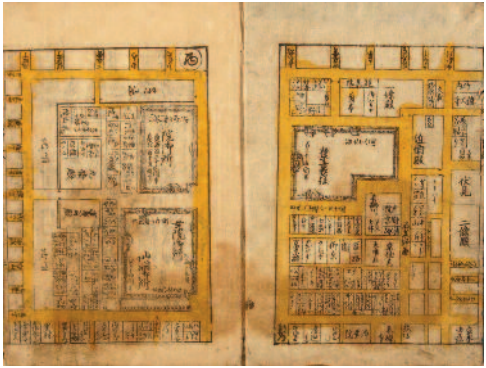
16
ROHANA SAN.
V.
She goes at the gaming
As her body wears round
Quite transport and rapture
She is so look on her
But the twinkle in her eye
Is a "give away" to anyone who sees it
The side long glance she throws
As she turns upon her heel
Has an impact that's quite beyond explaining
And does her fire the while
Leaves one shadow in a smile,
She is altogether highly entertaining
Chorus—"Tra" Hey-ho-ho! &c. &c.

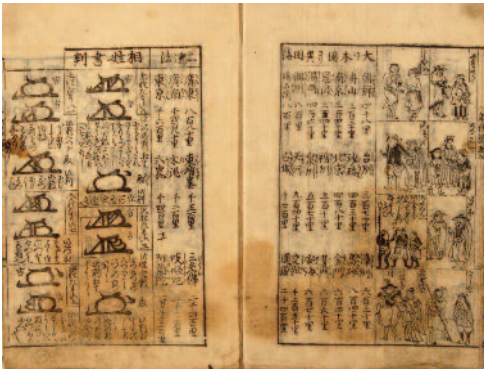
六四　政哲論談破窓之風琴　ボール表紙　凌耐居士戯述
―辻治之助著　春陽堂／和田篤太郎出版　明20　四六判　一六、二〇〇

六五　露國征伐新磯ぶし　鈴木與八編　大川錠吉　明37　文庫判一冊　五、四〇〇

六六　年代記新續抄　巻一　題簽欠　正徳三年刊　中一冊　一〇、八〇〇

―年代記ゑ入（柱題）　丁數「一～一八丁」

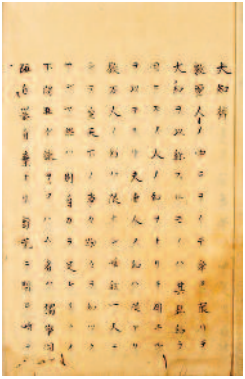




六七　大知辨　寫本廿四丁　喉少蒸レ　文化二年春寫　大一冊　一六、二〇〇

―朱公異傳／臥龍山人書

『國書』ニヨレバ「舛屋／小右衛門（山片／蟠桃）」

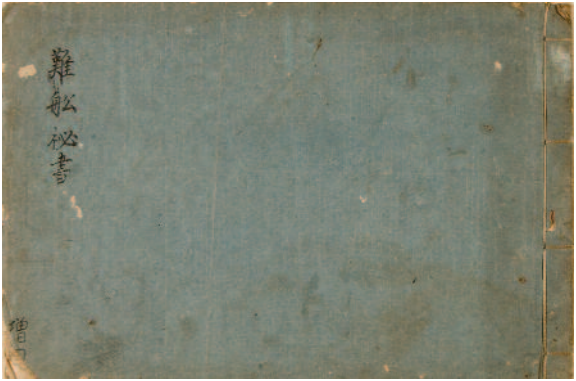


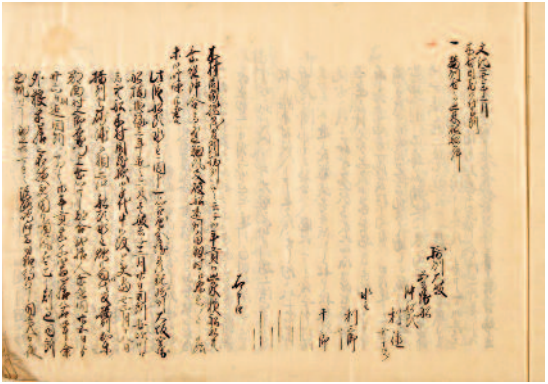
六八　近世人鏡録　六巻合本
―豊後國／角田簡大可撰

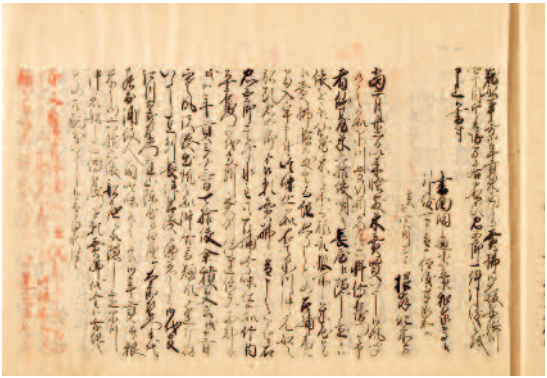
精寫本　文政四年序　特大三冊　二一、六〇〇

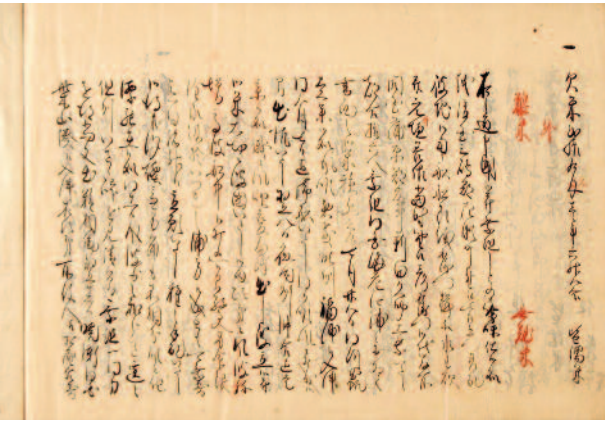
六九　難船秘書　雁皮紙　寫本七六丁　江戸後期寫　半横一冊　八六、四〇〇

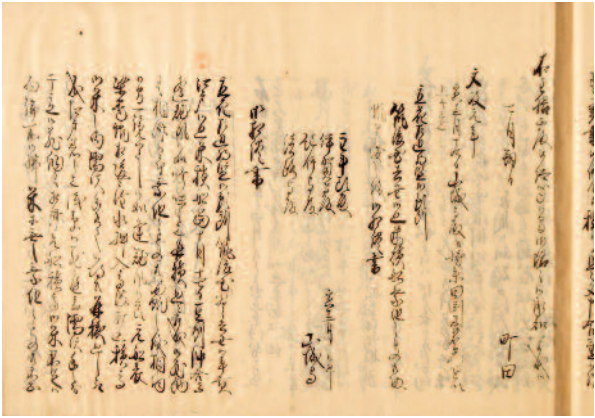
―寛政一二年ヨリ文化二年ニ至ル全國ノ難船破船一件　三六・三七頁參照



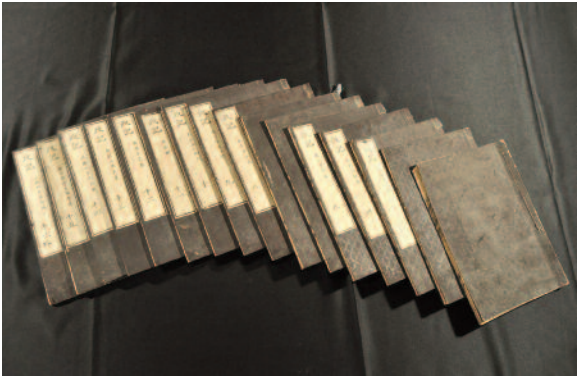


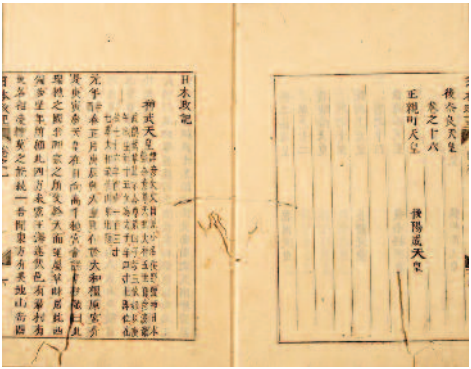






七〇　政記　全一六巻　木活字版　天保九年序　大一六冊　五四、〇〇〇
―柱題・内題「日本政記」　第一巻二少虫損　四冊題簽欠





政記序

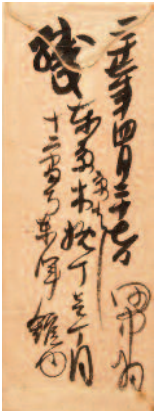
恭惟方今文物之盛加以英明威武而天下大治矣然海內人士或徒知其爲盛且治而不知盛與治固繇乎教化之隆與紀綱之張故取其所謂盛與治者托諸天運以爲至治極盛之世可以般樂怠敖以終身矣於是乎酣醉淋漓奢侈成風竊謂此風大行于天下則終俟教化替而紀綱弛亦未可知也乃察機於未萌保治於無疆俟天下不至衰且亂實在於今日噫識者可不留意乎此乎哉京師賴山陽抱經濟之才審古今之迹夙有外史通議之著晚復作政記

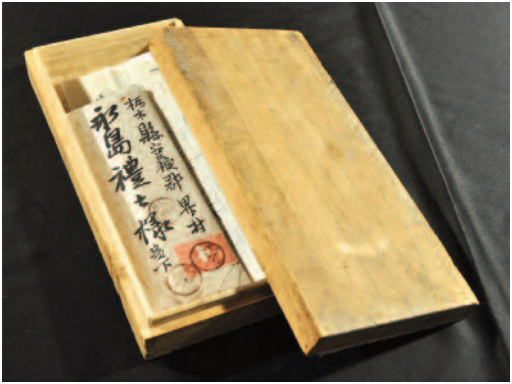
收藏之記

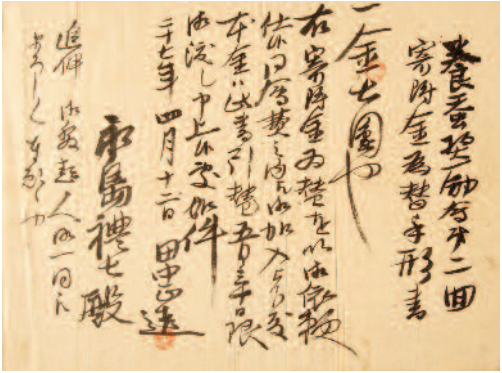
七一　田中正造書簡及養蚕奨励會寄附金爲替手形書　二通　二七〇、〇〇〇

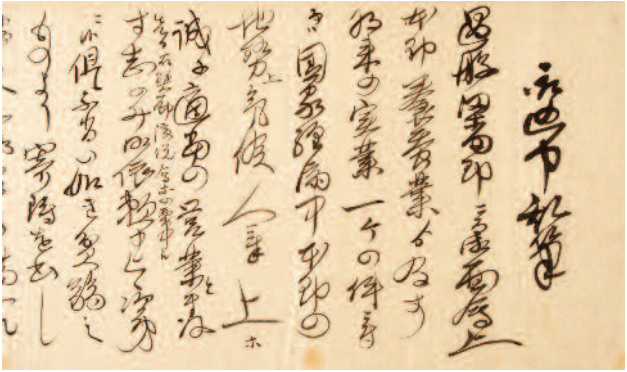
―栃木縣安蘇郡界村／永島禮七宛。書簡ハ長文毛筆八八行。封筒附。消印「武藏／東京／廿七年四月二十六日」「下野／佐野／廿七年四月／二十六日」。田中正造五四歳。桐箱入。

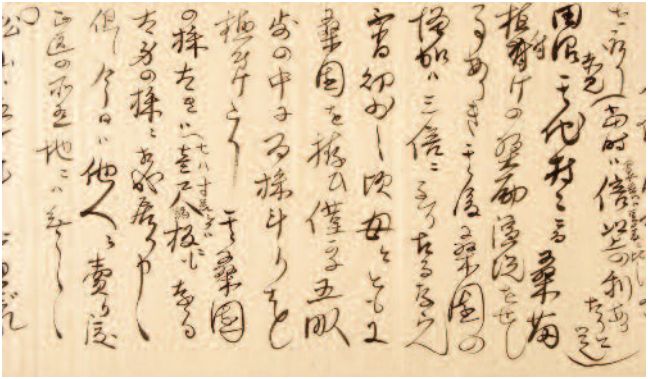
四二・一五八頁参照

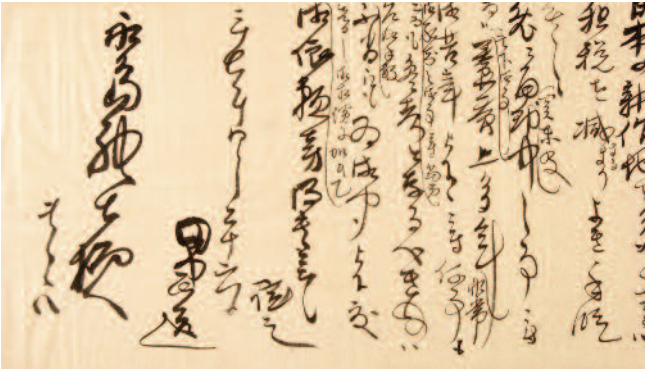












七二　奥羽觀蹟聞老志　乾（八巻）　元木箱入　簽　明16　中一〇册　二一、六〇〇

―仙臺／佐久間義和著　松平正直序　和紙デ保護サレテ極美本

七三　江戸名所花暦　巻一春之部　簽欠　岡山鳥著編　無刊　大一冊　三二、四〇〇
―長谷川雪旦画　全四巻内　内題「江戸遊覧花暦巻之一」

七四　讃州金比羅霊験記　簽　覺城院南月堂三等撰　明和六刊　半一册　二七、〇〇〇

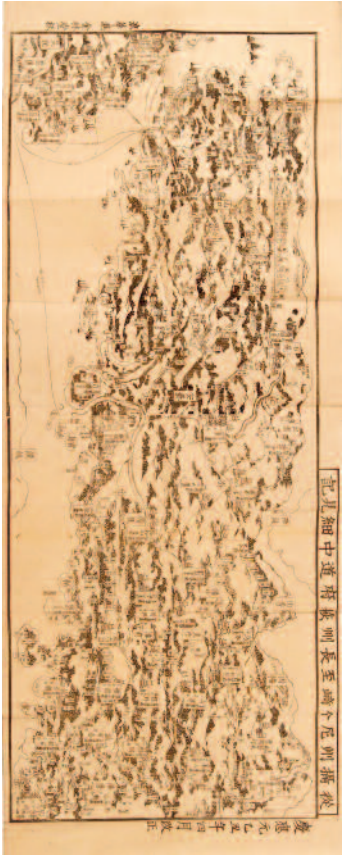
象頭山金毘羅大權現霊験記

讃州象頭山金毘羅大權現霊験記　全

讃岐國象頭山小松庄之事

第一　讃岐の國象頭山小松庄の郡司基一は
讃州象頭山金毘羅大權現の御同基一は
事と知者なり古老の曰往昔使行者此山に籠給り
特命一時山岡多宗大ゑ嗚呼なる者ありき仮り
者の右と見ゆ小岩窟左右小同ゑ肉ゑり
ゑ小ゑ仏者仮者て曰我回天竺摩国嶋山に住
敬ゑの門法と安護しまゑ小王宮殿に住山

七五　從攝州尼ケ崎至長州萩之府細見記　袋附　三八×九七　慶應元年刊　一枚　五四、〇〇〇
―内題「從攝州尼ヶ崎至長州萩府道中細見記」　浪華港／金林堂板　少虫

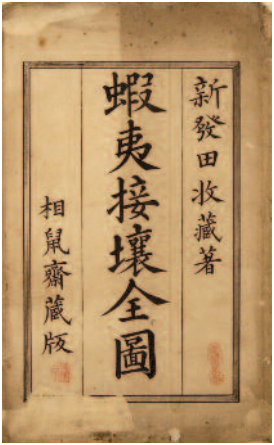


七六　方角場所附スリモノ　二四×九〇　江戸末期頃刊　一枚　二七、〇〇〇

七七　蝦夷接壤全圖　袋附　簽　四〇・五×五九　嘉永七刊　一舗　二一六、〇〇〇

―新發田收藏著　相鼠齋藏版

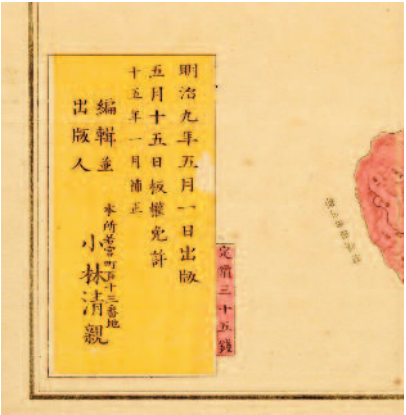
三三頁參照

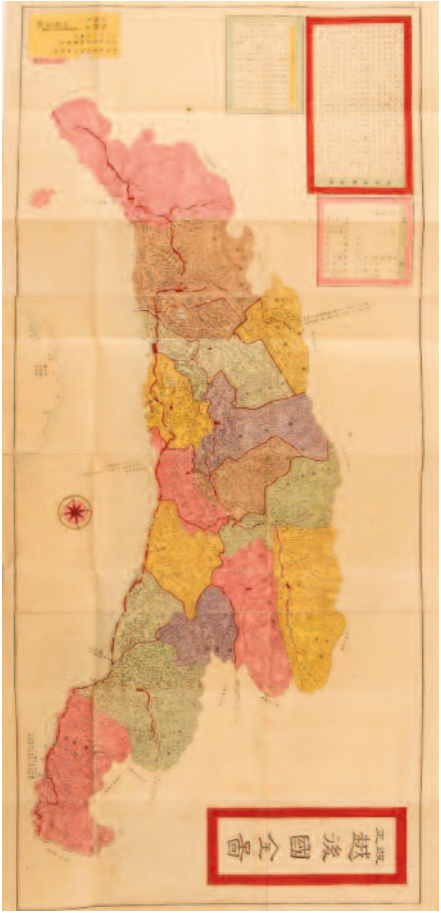


七八

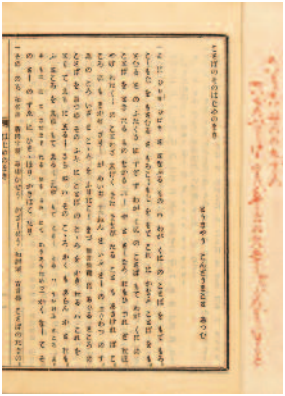
郡區改正越後國全圖　簽　極美　銅版彩　四六×九七　明9　一舗　四三、二〇〇

―編輯並出版人／小林清親。明治七年頃ヨリ繪描キヲ志シテイタ清親ダガ明治九年、大黒屋松木平吉ニ見出サレル前ハ生活ノ爲コノヨウナ仕事ヲシテイタ事ヲ裏附ケル。



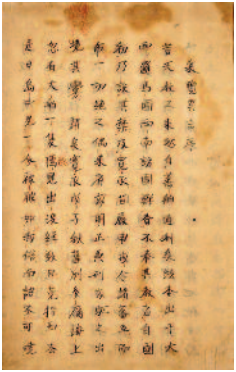

正版
越後
國全圖

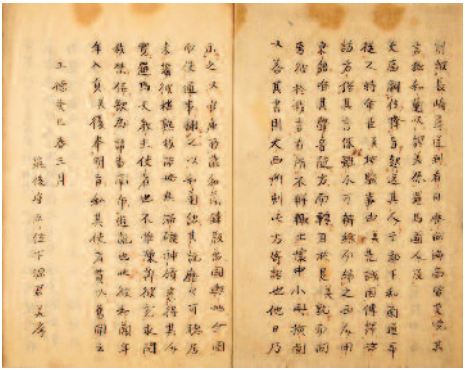
七九　ことはのその　はじめのまき／五巻　簽元帙入　明18　中六冊　五四、〇〇〇
—とうきゃう／こんどうまこと／あつむ　發兌／瑞穂屋卯三郎他



八〇　采覽異言　寫本廿二丁　享保一八年　文政二年寫　大一冊　二七、〇〇〇

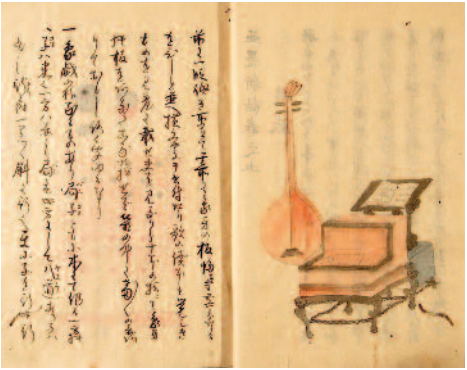
―正徳癸巳春三月／筑後守五位下源君美（新井白石）序

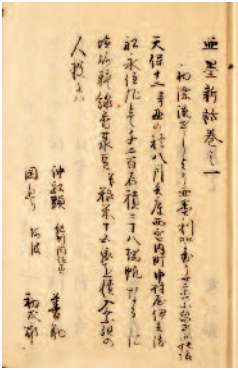


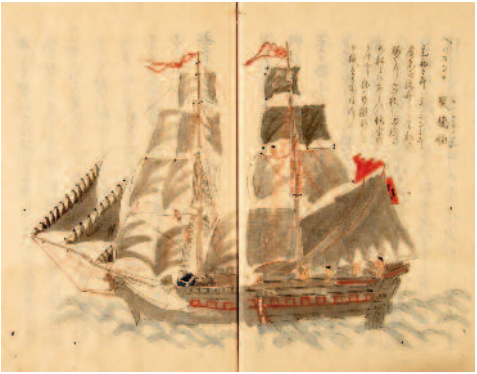


八一　亞墨新話　巻之一・巻之四（全五巻内）　天保一五序　大二冊　八六、四〇〇

―本書外題ニ「上」「下」ト記シ、巻頭ノ目録デ五巻ノ内容ヲ示スモ後ノ刊本トナッタ安政元年刊『海外異聞』ト照合スルト全五巻ノ内容ヲホボ有ス。ヤヤ虫損ナルモ状態ハ良好。



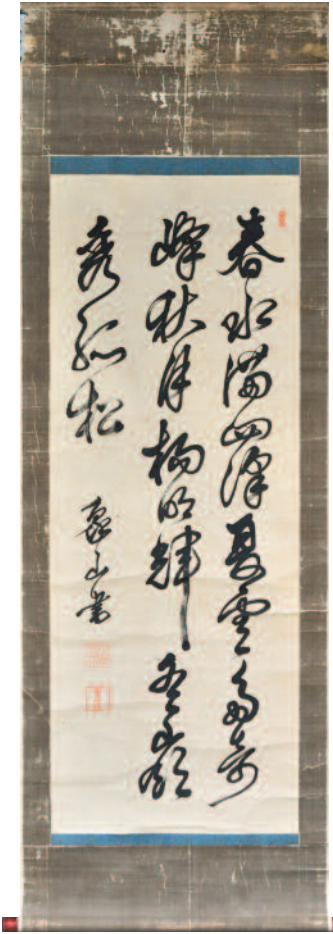


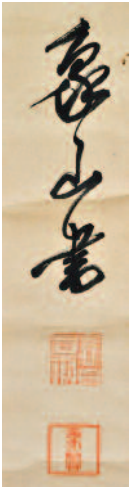


八二　佐久間象山書幅

―象山書　金子鷗亭舊藏及箱書キ　軸長一九三　紙本

一幅　一二九、六〇〇



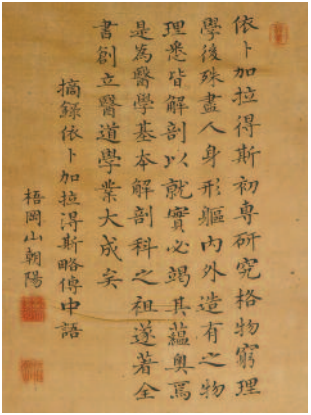


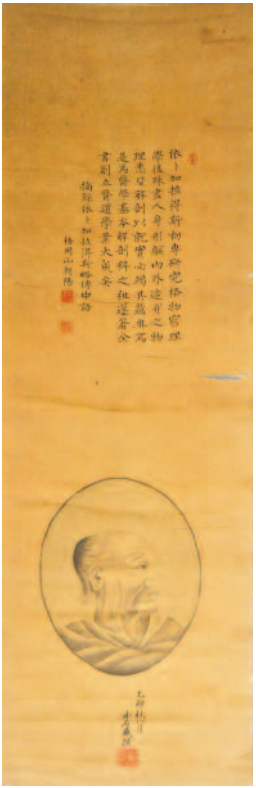
八三　加拉得斯略傳及画マクリ
―梧岡山朝陽記　水石盛模

絹本　一〇四×三四

乙卯（安政二）秋八月

一枚　二七、〇〇〇





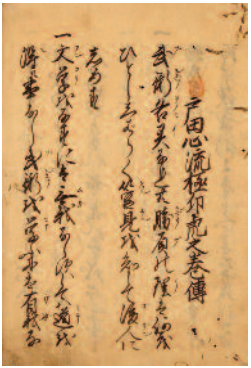
八四　戸田心流剣術兵法傳書　元文二年三月・五月寫　中四冊　一二九、六〇〇

―會田幸右衛門／源正久・古川平右衛門／源定賢　三四・三五頁參照

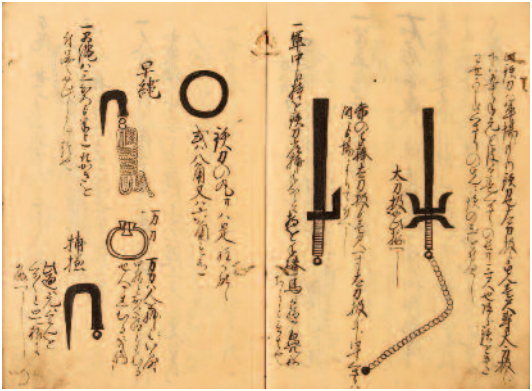
『戸田心流兵術』『戸田心流極印蜜書』『戸田心流極印虎之巻傳』

『戸田心流免書』

仍免許狀
戸田形部之丞勝原長重
今井田若狭守源重久
小笠原壹岐守源忠知
今井田新左衛門尉源重安
戸田佐久入道勝原月短
戸田權兵衛尉藤原忠光
御手洗主馬入道一源一源
篠崎林左衛門尉藤原重國
會田幸左衛門尉
元文二己巳歲五月
源安


戸田心流極印免之巻傳

清和天皇ニ後龍山石伊豆守源時氏未孫
陸奥国伊達郡ニ住人
時重
政知
氏重
戸田心流 祖 秀吉公ニ仕フ
盛安
戸田心流 祖 前田家ニ仕フ
知則
石級流 祖 徳川家ニ仕フ
小野ノ雷鶴



一大小共ニ切先ハ愛宕又ハ七曜破軍之真給

一及先ハ流儀ノ寺給摩利支天焼不動明王

一大小之鐔ハ日月上ニ大刀ハ天下ニ大刀地合ニ
大刀ハ和合也是天地和合様々口傳有

一流儀の大小の柄塗鞘塗鞘三ツの作
其ハ幾何様ニ無下ニ作ル事ハ
無之所ニ二鞘ハ
[illegible]

一柄巻様ハ中美柄成ハ平柄ハ上ハ

一[illegible]

一[illegible]

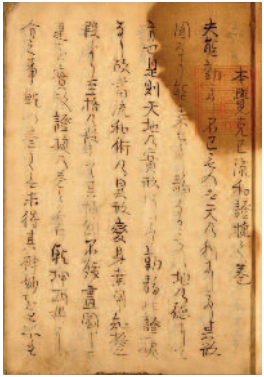
右之巻之員数ハ[illegible]
各御秘蔵可有月慈者也

加州小松之住 戸田形部之系

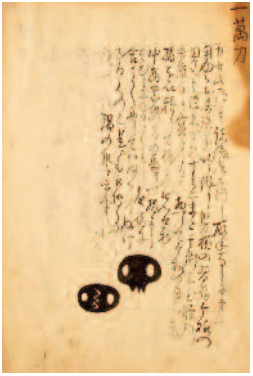
慶長五年庚子八月

八五　本覺克己流和證據之巻　寫本六三丁　天保一三年四月　半一冊　七五、六〇〇

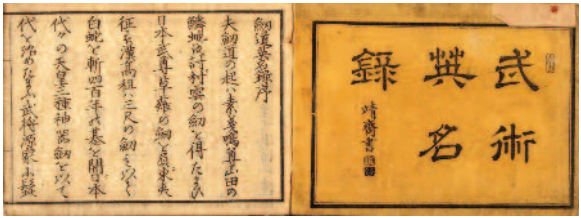
―齋藤茂兵衛／義武／花押　原書／寛文元年寫

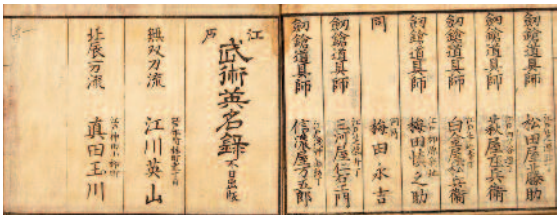


天保三壬辰年
四月吉日
齋藤勝茂兵衛尉
村雨豊前殿



八六　武術英名録





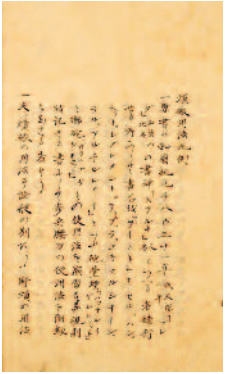
簽欠　萬延元年秋八月序刊

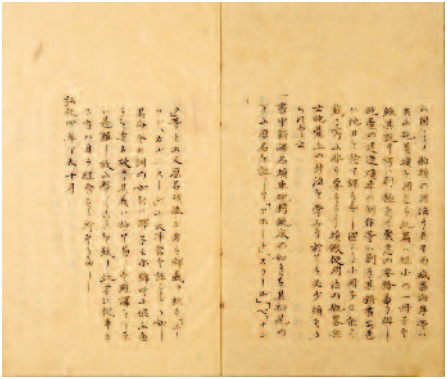
中横一冊　三七、八〇〇

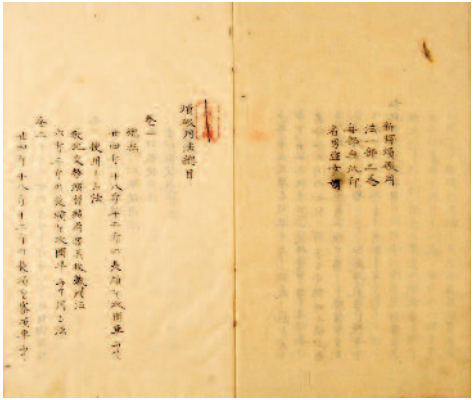
八七　煩礇用法　巻一／巻二三合本　精寫本　弘化四年序　大一冊　一二九、六〇〇

―原書和蘭紀元一八三一年。杉田信成繙譯。大冢庵同庵校閲。『國書』ニレバ弘化四年成立。末尾ニ「令言解」八丁。全七五丁。内題ニ「巻二」ト記スモ總目ニ記ス巻二ノ内容ヲ逸ス。

三〇・一八二・一八三頁参照



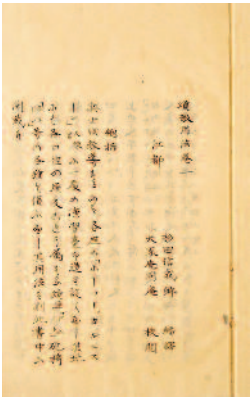




新譯續敬用法
江一部之全
每部為一冊
名男經文堂

續敬用法總目

卷一
總論
世四年十八年十二月の大審院の決議
使用の方法
敬式文等の作成方法
六年三月の最後の改正
卷二
世四年十八年月十二月の最後の改正



續敬用法卷一
江部
松田信成 編輯
大審院司法 校閲

總論

續敬用法卷三
江部
松田信成 編輯
大審院司法 校閲

二十九年の敬使用法

煩礙用法

二三

煩礙用法卷之三

今言解

書中金今の詞の於等を使者と者三理合
[illegible]
[illegible]
[illegible]

表一

一「[illegible]」[illegible]

一「[illegible]」[illegible]

解 [illegible]

解 いたい＝まつめ

語 [illegible]＝こめ

「[illegible]」[illegible]

解 [illegible]＝中れ

「[illegible]」[illegible]

解 [illegible]＝中れ

「[illegible]」[illegible]

解 くすぐつに＝いれい

「[illegible]」か[illegible]ぬけい

今言雜考

「[illegible]」か[illegible]＝うそに

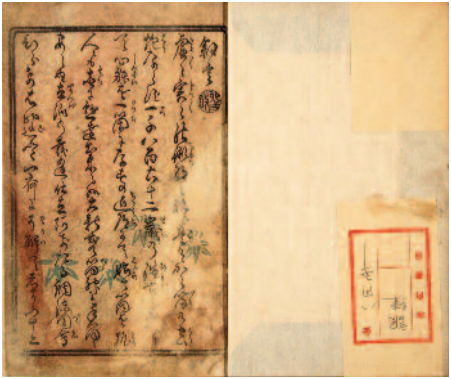
「[illegible]」か[illegible]＝中れ

「[illegible]」か[illegible]＝あはめ

「[illegible]」か[illegible]＝さど

八八　調練圖會（仮題）　古改装　池田洞雲序　慶應三年序　中一冊　七五、六〇〇

―一六丁　薄イ裏打



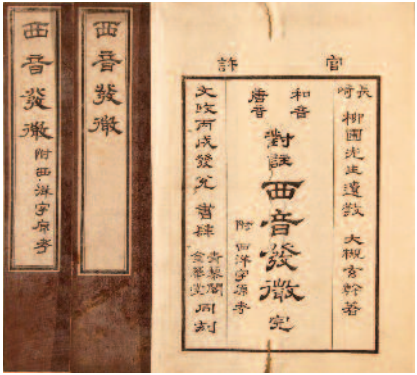
二八・二九頁参照

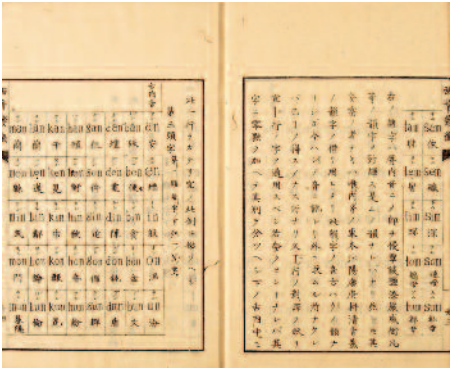
十三 号令
かまへ銃
十四 号令
さげ銃
十五
初めつせ
十六 号令
初後ゆけ

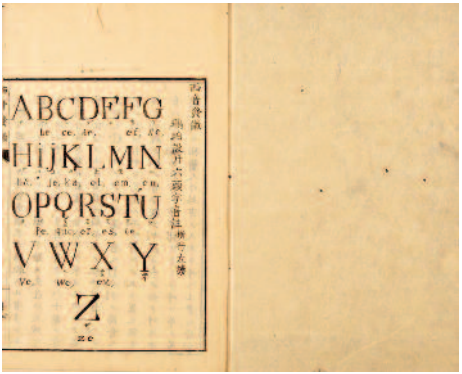
八九　江戸末期砲兵隊及大砲ノ圖マクリ
―天洲寫　一三三×五九　屏風外シ　少傷ミ

二枚　五四、〇〇〇

九〇 和音唐音對註西音發微　簽　袋附　文政　文政九年發兌　大二冊　一二九、六〇〇
―附／西洋字原考　大槻玄幹著　長崎／柳圃先生遺教
青藜閣／金華堂同刻　僅虫　非常ニ稀ナ元外袋ノ附イタ完全本

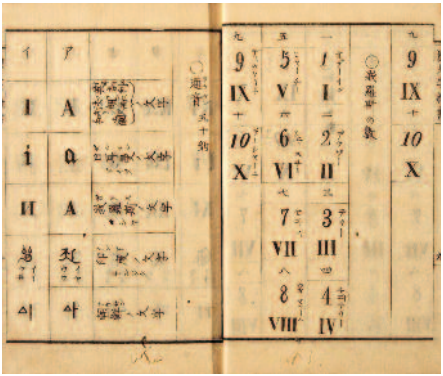


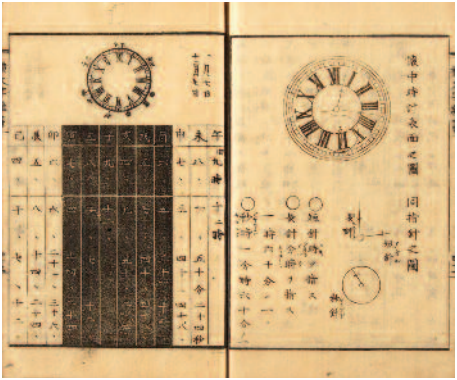



ABCDEFG
HijKLMN
OPQRSTU
VWXY
Z

九一　横文字雑書一覧　簽　時習軒主人著　明治六年三月板　中一冊　五四、〇〇〇

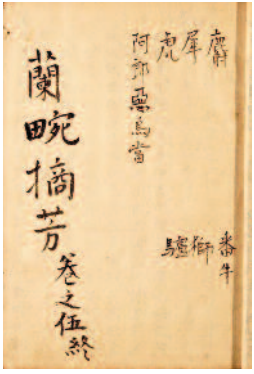
―岸田利雄藏版　書林／山静堂（山崎清七）發兌　少虫

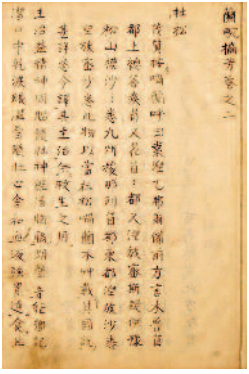


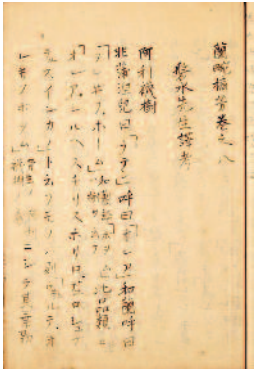

懷中時計表面之圖
同指針之圖
一月七日
十二月九日
子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥
九時 十二時
十一 一
八 七
五 四
十 七
十一 二
八 十四
五 二十四
十 七
十一 二
八 十四
五 二十四
十 七
十一 二
八 十四
五 二十

九二　蘭畹摘芳　寫本六五丁　大槻磐水譯考　江戸後期寫　大一冊　五四、〇〇〇

―大槻茂質玄澤ノ醫學隨筆ノ大作『蘭畹摘芳』抜萃抄録。

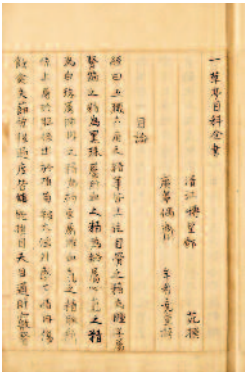


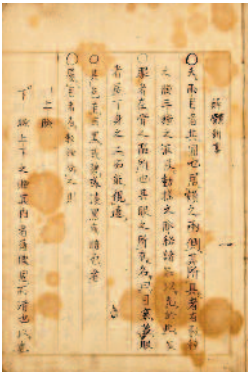




九三　蘭唐眼目全書　寫本四七丁　江戸後期寫　半一冊　三二、四〇〇

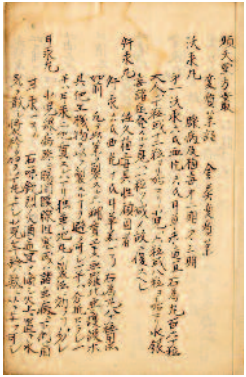
―眼目病ニツイテ『解體新書』『草亭目科全書』『張路玉麻疹方』ヨリ抜萃。

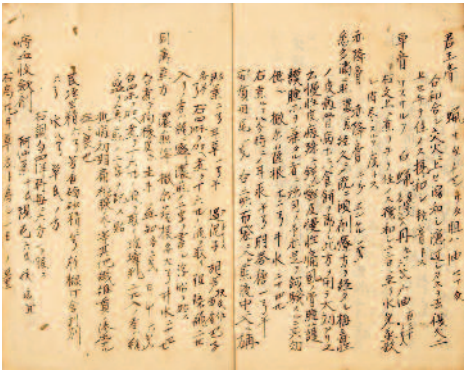




九四　順天堂方叢

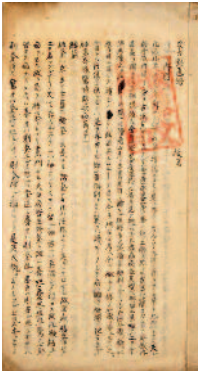
寫本一五丁　江戸末期寫　半一册　一六、二〇〇





九五　求古舘醫譜　抜寫　寫本一七丁　江戸末期寫　大一冊　一六、二〇〇

―『國書』高階經宣（高階／枳園）著

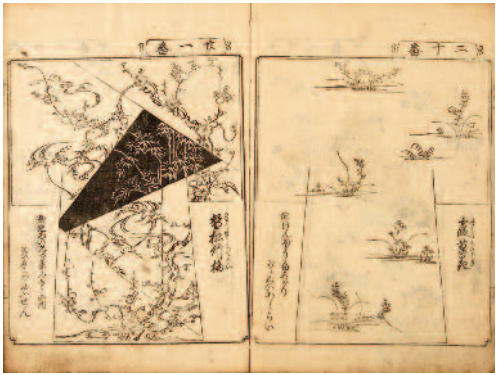


九六　喫茶養生記　上下巻元合本　書キ簽　元禄甲戌之春跋　大一冊　二一、六〇〇

―琵琶／病隠无涯謹識　建仁寺開祖　兩足院藏板

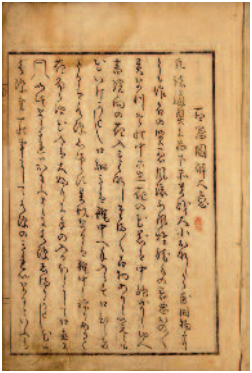
九七　雛形朧の清水　上巻（三巻内）　簽欠　寛保二秋下旬序　大一冊　二七、〇〇〇

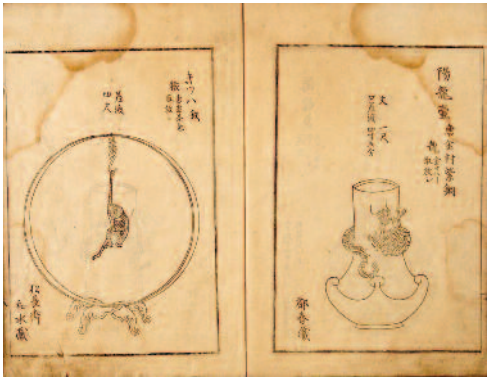
―繪菱屋忠七画



九八　百器圖解　上巻（下巻欠）　題簽欠　安永三年刊　半一冊　二七、〇〇〇

―『國書』ニヨレバ千葉竜卜著

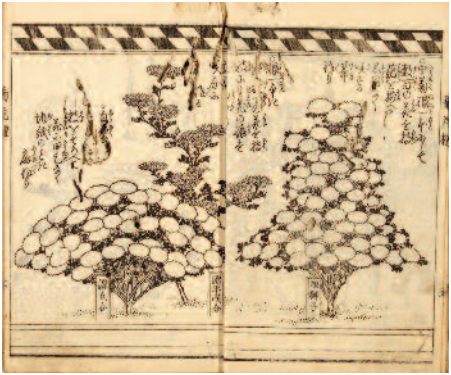


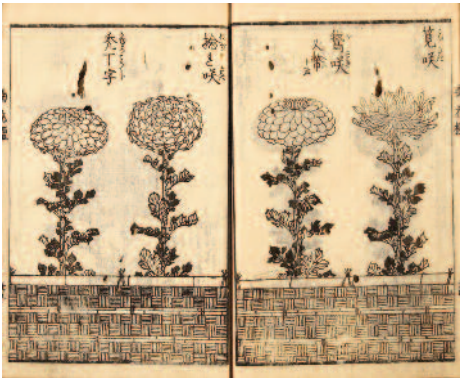


九九　菊花壇養種　簽　虫　東都書肆／甘泉堂梓　弘化三序　中一冊　三二、四〇〇

―菅井菊叟著　一筆葺主人誌　和泉屋市兵衛　首尾ニ虫強シ未補修

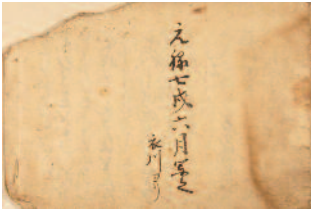
二六・二七頁参照

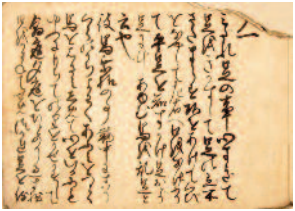


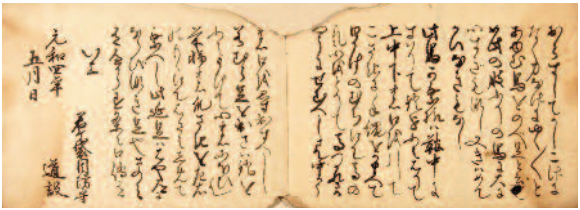

覓咲
鶴咲
大菊
桃と咲
秀十字

一〇〇　七足書　九丁　上部ウマクイ　元禄七年六月寫之　半横一冊　二七、〇〇〇

―元和四年五月／君ヶ袋周防守／道設　馬術書







一〇一　江戸登リ元祖淺艸かいさいく　二四×三四　江戸末期刊　一枚　二七、〇〇〇
―江戸／細工人／大塚看造

一〇二　諸國名貝細工番數　二五×三四　明治初期刊　一枚　一六、二〇〇
―細工人／小寺金造　太夫元／高橋幸介

一〇三　料理寫本
―高橋九左衛門

寫本四四丁　寶暦五年八月寫　大一冊　五四、〇〇〇

一〇四　酒の徑
―「飲酒一牧起請」

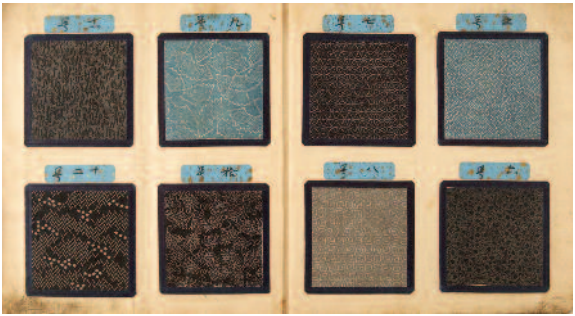
寫本四丁　其角丈　芭蕉　江戸後期　半一冊　二七、〇〇〇

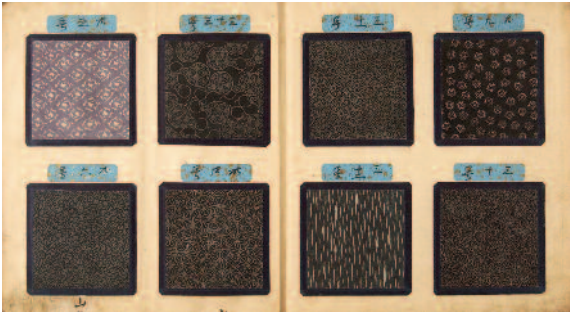
一〇五　質鑑札
―大鑑札　三三×一六糎　厚サ一八粍　御役所　慶應三年　一枚　二七、〇〇〇

一〇六　小紋見本帖　全一六〇種　江戸後期　大一帖　一六二、〇〇〇

―陸中／盛岡市大工町／萬染物處／古舘冨太郎　帖ノ大キサ二七×二七糎

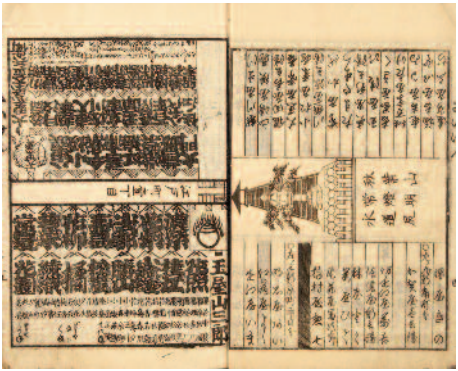
三八・三九頁参照





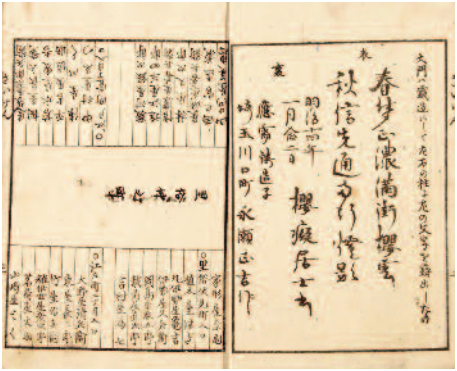
一〇七　吉原さいけん
―梅素亭玄魚記

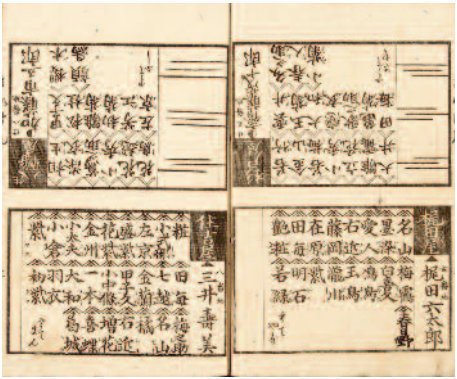
玉屋山三郎藏板　安政七年初春刊　中一冊　二七、〇〇〇



一〇八　吉原さいけん　藤田吉右衛門編版　明14　中一冊　五四、〇〇〇

―櫻癡居士・外神田／かな井安善序

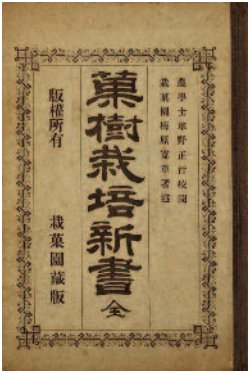




一〇九　教育幼稚園遊戯之圖　簽　八面　松野米次郎發行　明20　中一帖　二七、〇〇〇

一一〇　菓樹栽培新書　ボール表紙　草野正行校閲　明22　四六判　一〇、八〇〇
―梅原寛重著　栽菓園藏版

一一一　新撰速成製法秘訣　ボール表紙　稲垣銓平校閲　明20　四六判　一〇、八〇〇
―蘆田東雄編述　伊藤誠之堂

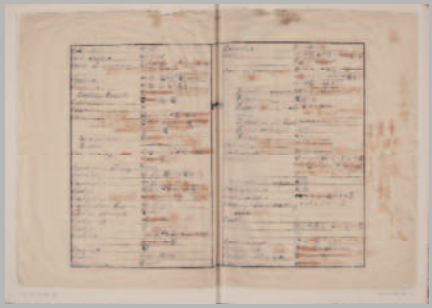


名雲書店發行新刊のご案内

英和對譯袖珍辞書原稿影印

文久二年江戸開板・慶應二年江戸再版　限定200部
名雲純一編　影印本／堀孝彦序及び解題（堀達之助玄孫）洋書調所・開成所刊行。初版が全体量の３％強・再版が約８分の１（122頁）全文全情報を原寸カラー印刷で影印。Ａ４判・上製函入り・背バックスキン・マーブル紙特別装釘。183頁2007年7月7日発行。

定価／本体　120,000円＋税



英学史上空前の発見！

◎茂住實男

日本英学史学会長・拓殖大学教授

第一級の歴史的史料であり、辞書編纂者らの格闘の跡を残す校正原稿からは、編纂に係わる数々の情報が読み取れる。西洋文明の理解やそれに伴う英語訳語の選定過程など、英学史研究にとって又とない機会の到来である。早くも編纂着手時期の再検討や編纂従事者の追加の必用も指摘され、幕末期の欧米文化、文明摂取に係わるいくつもの新事実がもたらされるであろう。その調査・分析は、今ここに始まる。この貴重な文化遺産の公刊を喜びたい。

維新変革の重み！

◎宮地正人

東京大学名誉教授・元史料編纂所長・前国立歴史民俗博物館長

このような第一級史料がまだ存在していたのか、というのが率直な感慨である。幕末史では攘夷運動・倒幕運動史研究に重点がおかれがちだが、特に学術分野の近代化は幕府の果たした役割が大きく、その中心が英日辞書の編纂事業であった。その過程での労苦と辛酸をなによりも雄弁に本史料が語りかけている。影印本刊行をよろこぶと同時に、維新変革の重みを国民が理解する上で、原史料も然るべき機関で常設展示されることを切望したい。

訳語研究に朗報！

◎飛田良文

全国大学国語国文学会理事・国立国語研究所名誉所員

元国際基督教大学大学院教授・博士

『英和対訳袖珍辞書』の校正原稿が発見された。近代日本語研究にとって大きな喜びである。文久元年のころ、蕃書調所の堀達之助（辞書編纂代表）のもとに、同僚の西周助や箕作麟祥らが英語の稽古に通った。この原稿は、これらの知識人がオランダ語から英語へ移り変わっていく現実を反映する第一級の資料で、この発見が契機となって、辞書史、訳語史、さらに翻訳史の研究へと一段と発展することを期待している。

ワールド・アンティーク・ブック・プラザ in 東京！

丸善日本橋店　３Ｆ　10：00～20：00（元日を除いて年中無休）
〒103-8245　東京都中央区日本橋 2-3-10

2011 年 11 月 25 日ＯＰＥＮ！

世界１１カ国、２０店の古書肆のプラザが丸善日本橋店にオープンしました。
弊社名雲書店もプラザのメンバーとして出展しております。
お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

World Antiquarian Book Plaza in Tokyo!

Located at Maruzen Nihonbashi Bookshop 3rd Fl.

Plaza Members

- Between the Covers Rare Books, Inc. *(U.S.A.)*
- Cathay Bookshop *(China)*
- Rodolphe Chamonal *(France)*
- Cornstalk Bookshop *(Australia)*
- Antiquariat Winfried Geisenheyner *(Germany)*
- Antiquariat Inlibris GmbH *(Austria)*
- The Isseido Booksellers *(Japan)*
- Herman H. J. Lynge & Son A/S *(Denmark)*
- Maruzen Co., Ltd. *(Japan)*
- Nagumo Shoten *(Japan)*
- Oak Knoll Books *(U.S.A.)*
- Libreria Pontes *(Spain)*
- Jonathan Potter Ltd. *(U.K.)*
- B & L Rootenberg *(U.S.A.)*
- Bertram Rota Ltd. *(U.K.)*
- Rulon-Miller Books *(U.S.A.)*
- Dieter Schierenberg b.v. *(The Netherlands)*
- Sokol Books Ltd. *(U.K.)*
- Antiquariat Steinbach *(Austria)*
- Antiquariat Weinek *(Austria)*
- Michael Weintraub, Inc. *(U.S.A.)*
- Yushodo Co., Ltd. *(Japan)*

ヤマトフィナンシャル株式会社

お支払い方法についてのご案内

※クレジットカード決済
（メールアドレスが必要です）

※お届け時クレジット払い

クレジットカードをご利用のお客様は詳しくはホームページをご覧ください。
名雲書店ホームページ　http://www.nagumosyoten.jp/

※お届け時電子マネー払いがご利用になれます。

■ ご利用いただける電子マネーブランド

平成廿八年四月五日發行　　正價二千圓

發行兼編輯人　群馬縣高崎市八千代町一丁目八番三號　名雲純一

印刷所　群馬縣高崎市島野町八九〇番地二五　上武印刷株式會社

發行所　群馬縣高崎市八千代町一丁目八番三號　名雲書店